

ルールル、ルルル♪ルールル、ルルル♪ みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。今年度の給食は、今日がラストです。いつもみんなの栄養を考えて献立を作ってくださっている〇〇先生、そして朝早くから寒い中、給食を作ってくださっている調理員の皆さんに、1年分の感謝を込めて「いただきます」味わって食べてくださいね。

さて、今日は今年度最後の放送ですので、ゲストがいらしています。6年生を送り出して、ほっとするのも束の間、ちょっと寂しくなっている様子の★★先生と☆☆先生にお越しいただきました。こちらへどうぞ～。

こんにちは、よろしくお願いま～す。こんにちは、おじゃましま～す。

こんにちは。ようこそお越しくださいました。早速ですが、お二人にお伺いしたいことがあるので、お聞きしてもいいですか？(はい。)

①まずは卒業生を送り出した感想を聞かせてください。

恵子先生がお話していた通り、寂しいな～と思っています。嬉しかったことや大変だったことなどいろいろな出来事がありました。卒業生と関わっていた日々は、先生にとってとても楽しいものでした。卒業生のいない教室を見ると、何だか寂しい気持ちになってしまいます。先生として素敵な日々を過ごすことができ、子供たちには感謝の気持ちしかありません。

とても感慨深いです。それぞれが自分らしさを大切にしながら仲間と助け合い、成長してきた6年生でした。多くの挑戦や壁もありましたが、その度に諦めず、一歩ずつ乗り越える姿に、私自身が励まされることも多かったです。卒業式では、一人一人の誇らしい姿を見て、この1年間の思い出や彼らの成長が頭をよぎり、胸がいっぱいになりました。

②卒業生にどんな大人になってほしいと思っていますか？

するべきことをしっかりと行う、責任感のある大人になってほしいと思います。これからすることには、自分の好きなことだけでなく、あまり前向きになれないこともあると思います。しかしどんな時でも、自分のするべきことを毎日、ちゃんと行い、周りから信頼される人になってほしいです！

これから新しい道に進む卒業生たちが、学んだことを活かしながら、自分の夢に向かって歩み続けてほしいと願っています。そして、何か困難にぶつかった時には、自分を信じ、乗り越える勇気を持ちながら、仲間と助け合うことを忘れないでほしいです。

③ちなみに、お二人はどんな小学生でしたか？

体を動かすことが好きでした。放課後には習っていた野球をしたり、家の周りで缶蹴りをして遊んだりしていました。缶蹴りでは、入ってはいけないところに入って、近所の人から叱られたこともあります。あの時のことは、今でも本当に反省しています。みなさんも人に迷惑をかけてはいけませんよ！

実は、あまり大きな声では言えませんが、武田先生は、食べ物の好き嫌いが多くて、給食の時間が一番苦手な小学生でした。ピーマンも玉ねぎも食べられない子供だったんです。でも、不思議なことに、大人になったらなんでも食べられるようになりました。今では、給食の時間が大好きな時間になりました。

④先生になろうと思ったきっかけを教えてください。

私にとって最も馴染みのある職業だったことがきっかけです。私の家族に先生がいたり、学校が舞台の漫画やアニメが好きだったり、一日の中で先生と関わる時間が多かったり…。どんなことをする仕事なのか、イメージしやすかったことが大きかったのかなと思います。ちなみに私は、小学生の時から先生を目指していました。

私が先生になろうとしたきっかけは、子供の頃に会った先生達の影響が大きかったです。どんな時でも温かく、どんな時も一人一人を大切にしてくれました。その姿を見て、自分も誰かの成長を支えたり、夢を応援したりできる存在になりたいと思うようになりました。

⑤在校生に向けてメッセージをお願いします。

卒業生が楽しい日々を過ごすことができたのも、一緒に関わってくれた皆さんのおかげです。普段の学校生活を始め、お別れ式や卒業式でも卒業生のことを見守ってくれたことに、先生から感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとう。

4月からは、みなさん学年が一つ上がりますね。新しい学年になっても、毎日の学校生活を大切に、小さな一歩一歩を積み重ねていってください。そして、ちょっと難しいかもしれないと思ったことでも勇気を出して挑戦してみてください。これからもみなさんを全力で応援していきます！

素敵なエピソードやメッセージでした。今日は魅力満載の★★先生と☆☆先生にお越しいただきました。ありがとうございました。

ありがとうございました。ありがとうございました。(拍手)

さあ、いよいよ月曜日は修了式です。今年1年間、みなさんの学校生活は楽しかったですか？できるようになったことを書き出したらいくつ書けるかな？漢字だけだってかなりの数でしょう？縄跳びの技とか？調理ができるようになったとか？できた時の楽しさをたくさん味わったんじゃないかな？と思います。

ドラマ『御上先生』の中で主人公の教師がこんなことを言っていました。「人の記憶力は若い時がピークって言われているし、実際そうなんだけど、実は年をとればとるほど頭って良くなるんだよ。知識がたまっていって、あるときシナプスが伸びて、脳細胞同士がつながる。それが理解したってことで、この理解力は30歳を超えて深くなっていくと言われているんだ。その代わり若いうちにたくさん努力する必要があるらしいけどね。僕が読んだ本には30歳をどう迎えるかが大切と書いてあったけどね。例えばその時期、本を読んで過ごした人は、一生言葉と良い関係を築けるし、深く読めるようになる。」って。先生は30歳の誕生日は産前休暇中で、もうすぐ産まれるときでした。お腹の中の子と2歳になる長女に毎日読み聞かせをしていました。だからかな？言葉だけでなく、絵から伝わることも面白いって思うようになりましたね。

皆さんは今、「知識」をたくさん蓄える時期なんですね。だから様々なことに挑戦して、経験することが学び＝「知識」につながるんですね。その学びは勉強だけでなく、生活全般に言えることです。卒業式の準備の様子を見て、4月からの大きな成長を感じました。整然と並べた椅子の角度、紅白幕の張り具合、通路の美しさ、ちょっとしたところにも「心は見えないけれど心遣いは見える」そう「心遣い」ができる人が増えてきているのです。縦割り班活動では声の大きい子の意見だけでなく、低学年の子の気持ちを聴いてあげる姿がありました。「思いは見えないけれど思いやりは見える」そう「思いやり」を感じる場面がたくさんありました。そんな皆さんの成長を間近に感じられる先生たちは本当に幸せです。今年1年間、たくさんの感動をありがとう。

新学期、元気な姿で会いましょう。See you again! Enjoy your Spring break!!